

資料2 赤沢地区の津波対策（対応策の抽出（具体化）と優先順位づけ）

課題・対応策		短期的対策（2～3年）	中期的対策（10年以内）	長期的対策	備考	
ハード対策	護岸かさ上げ	<ul style="list-style-type: none"> レベル1津波による、住居地区への浸水は少ないことが想定されている。 波返し開口部の対策 赤沢護岸の耐久性が不安 				
	避難場所	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター赤沢会館（土砂災害特別警戒区域） 逃げる場所（安全な場所）の把握 			・土石流	
	避難路	<ul style="list-style-type: none"> 避難路 <ul style="list-style-type: none"> →崩れて利用できなくなるか →電柱等の倒壊 →狭いルート 		<ul style="list-style-type: none"> 避難路 <ul style="list-style-type: none"> →崩れて利用できなくなるか →電柱等の倒壊 →狭いルート 		<ul style="list-style-type: none"> 公道であれば可能 県の急傾斜地崩壊対策事業 (民有の石積みの整備は市は事業主体になれない)
	避難路（照明）	<ul style="list-style-type: none"> 照明灯の設置（ソーラー式） 		<ul style="list-style-type: none"> 照明灯の設置（ソーラー式） 		<ul style="list-style-type: none"> 街灯の設置及び管理は区（町内）で行っている。魅力あるまちづくり事業補助金（市政戦略課）で防犯灯として設置することにより補助対象となる。
	情報連絡（防災情報）	<ul style="list-style-type: none"> 津波ハザードマップの配布 自主防災会ごとの津波避難行動計画作成 	<ul style="list-style-type: none"> 津波ハザードマップの配布 自主防災会ごとの津波避難行動計画作成 			
	情報連絡（安否確認）	<ul style="list-style-type: none"> 「災害用伝言ダイヤル171」を活用した安否確認 家族間・近所であらかじめ取り決め 	<ul style="list-style-type: none"> 「災害用伝言ダイヤル171」を活用した安否確認 家族間・近所であらかじめ取り決め 			
	情報連絡（防災情報）	<ul style="list-style-type: none"> Jアラート（全国瞬時警報システム） 同報無線（防災行政無線） 伊東市メールマガジン テレビ（テロップ）、ラジオ 	<ul style="list-style-type: none"> Jアラート（全国瞬時警報システム） 同報無線（防災行政無線） 伊東市メールマガジン テレビ（テロップ）、ラジオ 			
ソフト対策	その他					